



連絡会NEWS春

協同組合東京都水道請負工事連絡会
〒103-0001 東京都中央区日本橋
小伝馬町 15-18 フジノビル 9 階
TEL 03-6264-9867 FAX 03-6264-9869
<http://www.renrakukai.org>

特別インタビュー

東京の水を守り、未来へつなぐ

東京都水道局給水部給水課

青木課長に聞く

老朽化する施設への対応や自然災害の激化など、水道事業を取り巻く環境は大きく変化している。首都東京を支える重要なライフラインとして、将来にわたる安定給水と水道事業の持続性を確保していくことが求められている。

こうした中、東京都では今年度、新たな経営プランと水道マスタープランのもと、将来を見据えた事業運営がスタートした。

今号では、令和 8 年 4 月に給水部給水課長に就任した青木祐次氏に、東京都水道局の施策や災害対策、人材育成技術継承、さらには工事事業者への期待について話を聞いた。

当然、完結できるものではないので、連絡会などの工事事業者の皆さまの存在が不可欠です。

首都東京を支える

水道の使命

——はじめに、東京都水道局としての施策と今後の展開についてお聞かせください。

青木 東京都水道局では、今年 3 月に経営プランが策定され、水道マスタープランも改定されました。このプランに基づいて事業を着実に進めていくことが重要であり、都民の生活に不安があります。できる限り今のうちに対策を進めていく必要があるのではないのでしょうか。

また、水管橋や添架管についても、少なくとも重要な箇所は災害時にも機能を維持できるようにしたいと考えています。伏越し工事には費用や工期がかかるため、より効率的な方法があれば、ぜひ取り組んでいきたいと思っています。

青木 やはり対応が難しい箇所は残っています。ただ、水道は止めることができないので、進めていく必要があると考えています。

活と首都東京を支える重要な

ライフラインとして、現在ある資産を、世代を超えて引き継いでいく責務があります。

——近年の自然災害が多発していますが、それらへの備えについてお聞かせください。

青木 施設の耐震化を進めるとともに災害発生時の対応力については、日頃から向上させる必要があると考えています。大きな災害が発生すると行政だけでは対応できないので、

きまさんで、供給が途絶えれば大変な事態になります。ご指摘のとおり、地中化には時間も費用もかかりますし、実施できる場所ばかりではありません。さまざまな工法を工夫しながら進めていく必要があると考えています。

持続可能な

水道事業を次世代へ

——今後の人口減少を見据えた取り組みについてはいかがでしょう。

青木 東京都においても人口はいよいよ令和 12 年頃にピークを迎え、今後は減少社会を迎えるといわれています。人口減少社会でも将来の水道需要をしっかりと見通した上で、必要な施設能力を確保しながら整備を進め、持続可能な水道システムを次世代に残していく必要があると考えています。また、料金収入の減少も見込まれるため、限られた整備費をいかに効率的・効果的に投資するかが課題になります。

——技術継承について、どのようにお考えですか。

青木 現場で培われてきた技術とノウハウを着実に継承することが水道局の基本的な理念である「安全でおいしい水の安定供給」の重要な基盤でもあると考えています。水道事業は長年の経験に裏打ちされた高度な技術力に支えられており、その価値を引き継ぐ必要があります。座学だけでなく、実際の現場で経験を積み重ねることが重要で、現場での施工管理を通じて、現場力を培っていく必要があります。

東京都では建設業者向けを含め、さまざまな講習を実施していますが、さらに実践的な訓練フィ



取材模様

の経験を踏まえて施設の耐震化を進めていくことに加え、風水害への対応も極めて重要と認識したところで、

——自然災害について、

すが、連絡会でも懸念している部分があります。都内には水管橋が約 750 カ所、添架管が約 1700 カ所あります。管理主体が十分確保できるのかとい

の基本理念である「安全でおいしい水の安定供給」の重要な基盤でもあると考えています。水道事業は長年の経験に裏打ちされた高度な技術力に支えられており、その価値を引き継ぐ必要があり

実際の現場で経験を積み重ねることが重要で、現場での施工管理を通じて、現場力を培っていく必要があります。

東京都では建設業者向けを含め、さまざまな講習を実施していますが、さらに実践的な訓練フィ

世代継承することが水道局の基本的な理念である「安全でおいしい水の安定供給」の重要な基盤でもあると考えています。水道事業は長年の経験に裏打ちされた高度な技術力に支えられており、その価値を引き継ぐ必要があり



“私達は、人々の水環境・住環境を安全快適にすることで
よりよい地域環境を築きます”



上下水道管材、住宅設備機器、関連工具販売

森陶管株式会社



〒170-0002
東京都豊島区巣鴨5-13-1 (国道17号沿)

TEL : 03-3918-3210
FAX : 03-3915-2227
<http://www.moritokan.com>



『ライフラインを守る』

更新工事のバイオニアであるデックはこれからも「安心列島」の構築に全力で取り組みます。

老朽管路の更新工事が全サイズ可能になりました！

SDF工法

ステンレス・ダイナミック・フレキシブル管挿入工法

800mm未満の老朽管路に適用

曲がり角度を選びません
90°曲管の伏せ越し配管にも引き込み可能。既設経年管の埋込角度を選ばず挿入できます。

優れた耐久・耐食・耐震性
先進・到達立坑ともに、作業スペースがコンパクトなため、施工時間の短縮につながります。

コンパクトで作業効率が良い
チューブにはSUS316Lを使用し、長期耐食性・耐久性があり、地盤に耐える耐震性にも優れています。

PIP工法

パイプ・イン・パイプ工法

800mm以上の老朽管路に適用

人が中に入り作業できる既設管に新しい鋼管を引き込み、再生する工法です

PIP工法は長期間道路を封鎖することなく、既設内径に近い鋼管を引き込むことで、水の供給を減らすことのない工法です。巻き込んだ鋼管を指定の場所まで移動し、ジャッキにて拡張し、溶接にて接合し、耐震性を高めます。

日本橋日銀通り
既設管800mmに400Aを引込む

既設管1000mmに900Aを引込む

株式会社デック <http://www.dek.co.jp>

東京営業所 〒206-0812 稲城市矢野口235-1 TEL: 042-379-9625

本社 〒231-0012 横浜市中区根生町6丁目102番地 TEL: 045-671-1661

事業部 〒252-1125 綾瀬市吉岡東1丁目16番35号 TEL: 0467-70-1372



若い力が活躍する 会社づくりを

株式会社大宇工業 青山一也会長

活躍している東京都水道工事請負連絡会会員にスポットライトを当て、会社の事業概要や経営理念、代表者の人となりなどを紹介する新企画。第一回となる今回は、株式会社大宇工業の青山一也会長に、大口径管工事を中心とした事業の特徴や若手育成への思い、今後の展望などについて話を伺った。

大口径管工事を 中心に事業展開

— まずは大宇工業について教えてください。

青山 主に多摩地区で水道工事を手掛けています。各家庭への給水管工事も行っていますが、中心となるのは大口径管を扱う大規模工事です。いわゆる市町村間を結ぶ幹線整備などを多く施工しています。

創業から約30年になるのか。

青山 創業から約30年になります。創業者である初代社長が約15年間会社を率いていました。

— その後、私が2代目として引き継ぎました。そして昨年、3代目へ社長職をバトンタッチしたところで、結果的に15年ごとに世代交代している形になります。若い世代にも積極的にチャンスを与えていくようにしています。

現在の社員数は。

青山 全体で約60名です。平均年齢も年々若くなっており、現在は40歳前後だと思っています。

3代目の新社長は。

青山 38歳です。親族承継ではなく、能力があれば誰でもチャンスがあるという考えで会社づくりを進めています。

— 福利厚生面ではどのような取り組みがありますか。

社員旅行やレクリエーション行事を行っています。

青山 社員旅行やレクリエーション行事を行っています。また、フットサル、釣り、ゴルフ、キャンプなど、社員同士のサークル活動も活発です。

技術力向上に向けた取り組みについて教えてください。

青山 4か月に1回のペースで、社員全員による勉強会を開催しています。新工法や事故事例などをテーマに学んでいます。

— 建設業界では人手不足が課題となっています。意味で社会全体の課題だと思っています。ただ、当社では若い社員が比較的に着いてくれています。若い人たちが継続して働いてくれていることが、会社の強みの一つではないでしょうか。

「まずやってみる」を大切に

青山 まずは「やってみる」ということです。そして常に新しいことへチャレンジすることを大事にしています。もちろん、挑戦すれば失敗もありますが、そうした後にサウナで汗を流すのが格別です。

最後に、最近ハマっている趣味を教えてください。

青山 最近はサウナです。運動ではスキーやスノーボード、ゴルフなども楽しんでいます。運動は失敗もありますが、そうした後にサウナで汗を流すのが格別です。

— 青山会長ご自身について教えてください。

人として成長していけるようにしています。

青山 この会社は私にとって3社目になります。工業高校卒業後は建築業界に入りしましたが、当時は不景気だったこともあり、公共工事を中心とした安定した仕事に携わりたいという思いがありました。

新体制づくりをサポート

青山 ちょうど新社長へバトンタッチし、世代交代を行ったばかりです。これから2〜3年かけて新しい体制づくりを進めていくほしいと思っています。私はそれを支える立場としてサポートしていきたいですね。

— 最後に、最近ハマっている趣味を教えてください。

新技術が拓く 水道事業の未来

— 新技術の開発や活用についてはいかがでしょうか。

青木 給水管分野でいうと、AIを活用した漏水検知技術の導入を検討している自治体が多くあります。東京都としても導入を検討していますが、技術は日進月歩なので、民間企業の研究や開発の動向をしっかり調査し、情報収集した上で活用を検討していかなければ時代に取り残されてしまいます。漏水検知に限ったことではありませんが、新たな技術や知見を取り入れながら、効率化と高度化を図っていく必要があると考えています。

ICT（情報通信技術）の活用

— ICT（情報通信技術）の活用を推進するために設立された「水道ICT情報連絡会」の取組みを時々拝見していますが、全国の自治体がさまざまな課題を抱えていることがよく分かります。

水道ICT情報連絡会

報道連絡会は今年度、東京都が幹事を務めています。さまざまな企業やスタートアップが参加し、多様で有益なアイデアを提案していただいています。非常に貴重な情報収集の場となっていますので、そこで得られた知見を今後の事業運営に活かしていきたいと考えています。

スマートメーター

— その中で、スマートメーターについてですが、取得したデータを活用し、警備会社などと連携した独居高齢者の見守りサービスに活用できるのではないかと考えています。例えば、一定期間水の使用が確認できない場合に安否確認を行うようなサービスがあってもよいのではないのでしょうか。

工事事業者との連携強化に期待

— 工事事業者に対するご要望、期待するところはありますか。

青木 私はこの3月まで建設部技術管理課におりまして、局内の事故防止の取り組みなどを行っていたのですが、安全管理とは、日頃からの蓄積が大事であると感じていました。残念ながら工事現場における死亡事故は毎年発生している状況でもありますが、安全管理の徹底と施工品質の確保を両立させて確実な施工を実施していただきたいと思っています。また、工事事業者の担い手が少なくなっている問題もあり、新たな人材確保が重要なポイントです。新たな経営プランにおいても、工事事業者の環境改善や水道工事等の魅力発信についても掲げておりまして、連絡会の皆さまと連携しながら環境づくりを進めていきたいと考えています。

安全対策に優れた事業者を評価

— 安全対策に優れた事業者を評価する仕組みや表彰制度などを通じて、業界全体の安全意識向上につなげていくことも重要だと思っています。

青木 無事故・無災害で質の高い工事を完成させている工事事業者は数多くいらっしゃいます。そうした優良な工事事業者がさらに増えていくことで、業界全体の安全意識の向上にもつながるのではないかと考えています。

最後に、工事事業者への期待をお聞かせください。

— 最後に、工事事業者への期待をお聞かせください。

青木 高い技術力や緊急時の機動力、安全管理意識、コンプライアンス意識を備えた工事事業者は、水道事業を支える重要なパートナーです。さらに、地域住民との信頼関係を築きながら事業を進められる総合的な現場力を持つ工事事業者が増えることで、水道局との連携も一層強固なものになると考えています。今後も連携を深めながら、都民生活を支える水道事業とともに支えていただきたいと思います。

連絡会としても、その期待に応えられるよう、事業者が安定した経営基盤のもとで事業を継続できるように取り組むとともに、災害時には迅速に対応できる体制づくりに努めていきます。

— 連絡会としても、その期待に応えられるよう、事業者が安定した経営基盤のもとで事業を継続できるように取り組むとともに、災害時には迅速に対応できる体制づくりに努めていきます。

本日はありがとうございました。
(令和8年5月28日収録)

改良土センター

開設決定!

2026年度
始動します



弊社木更津作業所内に土質改良プラント建設！
自社製改良土を新砂ストックヤードで販売開始



東京都水準
改良土販売

試験成績表
自社発行

リサイクル証明書
自社発行



連絡会員業者様は連絡会扱いで即日売掛可能！

(有)建進産業
★お問い合わせ★ ☎03-3647-2428

新砂ストックヤード 江東区新砂 1-11-5
国土交通省登録ストックヤード 第13000141号
ホームページ <http://www.kenshin-sangyou.jp>

外国人

Foreign technical training system

技能実習

技能実習生の受入れご相談ください。
面接から受入れ後まで幅広くサポートいたします。

あかね協同組合

〒177-0045 東京都練馬区石神井台7-7-13
TEL : 03-6279-7050 FAX : 03-6279-7264
MAIL : info@akane-c.jp